

2013年度

事 業 報 告

自 2013年 4月 1日

至 2014年 3月31日

公益財団法人 正 力 厚 生 会

〔がん患者支援事業〕

＜患者団体への助成＞

患者団体等への助成事業（継続）

全国のがん患者会や支援団体などの中から、資金不足からイベントやプロジェクト、研究などができない団体を一般公募し、専門委員会での審査を通じた団体に活動資金を助成する事業です。全国の29団体に助成しました（正式決定後に2団体が辞退したため、実質27団体に助成）。

助成金は、患者同士の交流を促進するためのHPのリニューアル、がんケアサロンの運営費、専門医師などを講師に招いての勉強会・講演会開催に伴う諸費用などに充てられました。

＜医療機関への助成＞

3か年の助成が決まっている国立がん研究センター、がん研究会、東京大学死生学・応用倫理センターの3者で構成される「地域における緩和ケアと療養支援情報プロジェクト」は2013年9月1日、都内で、「がんと共生できる社会づくり」をテーマとした「がん医療フォーラム2013」を開催し、500人が集まりました。

フォーラムでは、「患者と家族が社会とのつながりを保つための方法」「療養に要する費用の仕組みや支援制度」「患者とのコミュニケーションについて」「患者や家族が心の安らぎを得ることの大切さ」「在宅での緩和ケアを受けるときに知っておきたいこと」「最期を考えること」などが課題として浮上し、こうした一連の課題に応えられる支援冊子の完成を目指すことを確認しました。

フォーラム参加者のアンケート結果によると、内容について「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」が74.3%、「大変役に立った」「役に立った」が79.7%で概ね好評でした。

フォーラム当日の様子は、2013年10月17日付読売新聞朝刊全国通しで掲載されたほか、読売新聞の医療・介護・健康サイト「ヨミドクター」でも公開されています。加えて、国立がん研究センターがん対策情報センターのサイト「がん情報サービス」においても、動画配信されています。

＜QOL(クオリティー・オブ・ライフ)向上への助成＞

読響ハートフルコンサート（継続）

がん患者や家族たちの心を癒すため、読売日本交響楽団員をがん診療連携

拠点病院に派遣して弦楽四重奏などを披露しました。2013年度は、全国6会場（和歌山県立医科大学付属病院、岐阜県総合医療センター、高崎総合医療センター、鳥取県立中央病院、長崎大学病院、徳島県立中央病院）で開催しました。

各会場では、患者や医師、看護師などの医療従事者約100人が集まりました。会場からは、「プロの素晴らしい音楽から力をもらった」「気分転換ができて、とても良かった」などの声が寄せられました。

なお、各会場でのコンサートの様子は、読売新聞の各地域版に掲載されました。